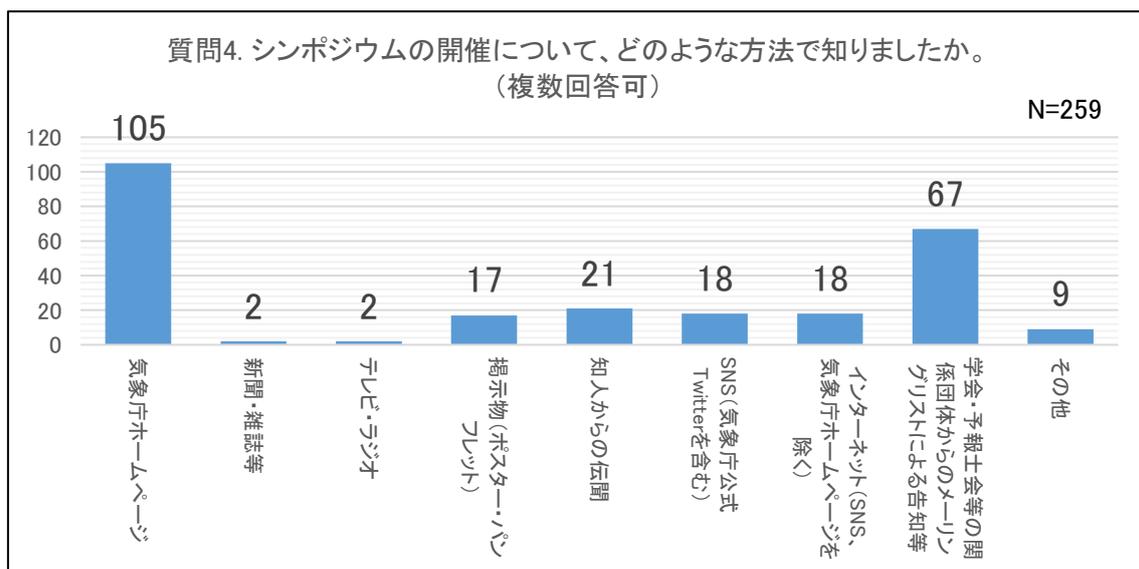
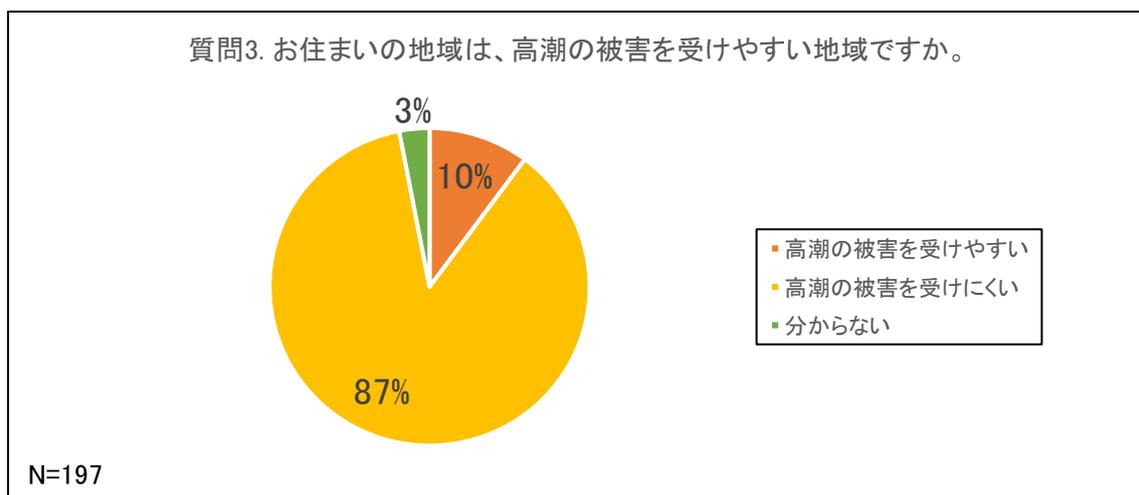
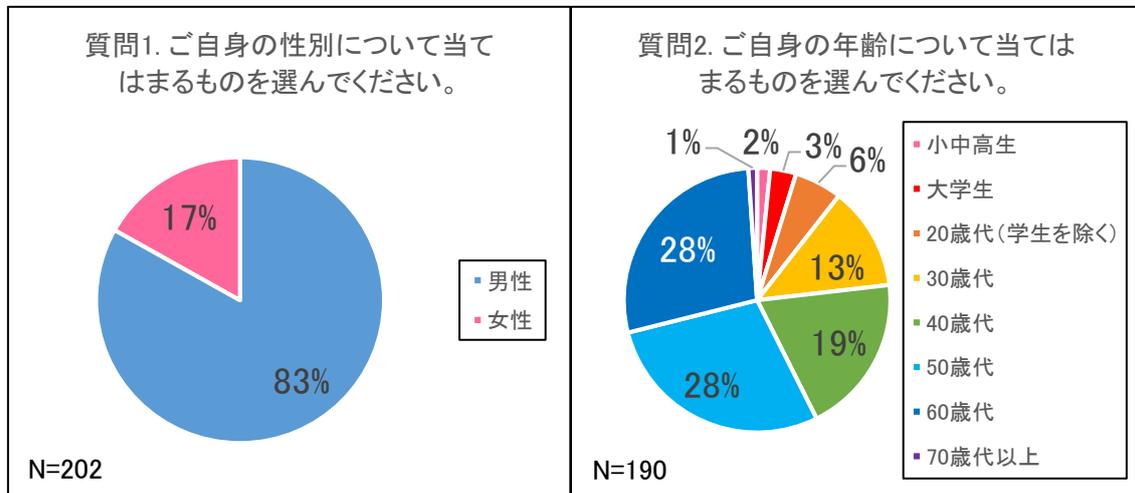
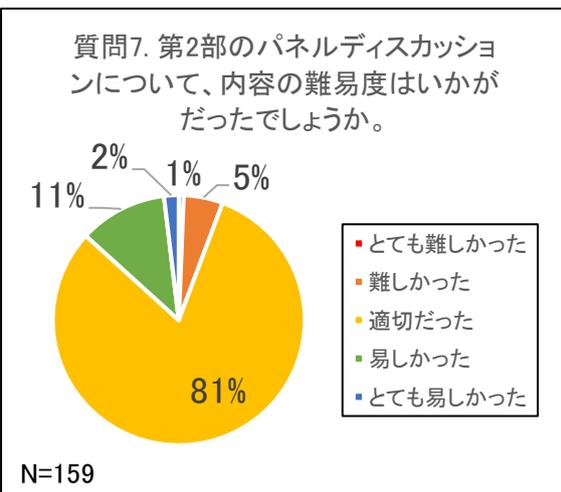
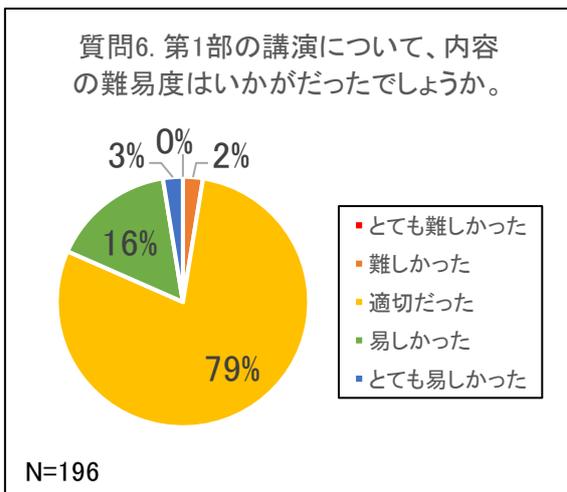
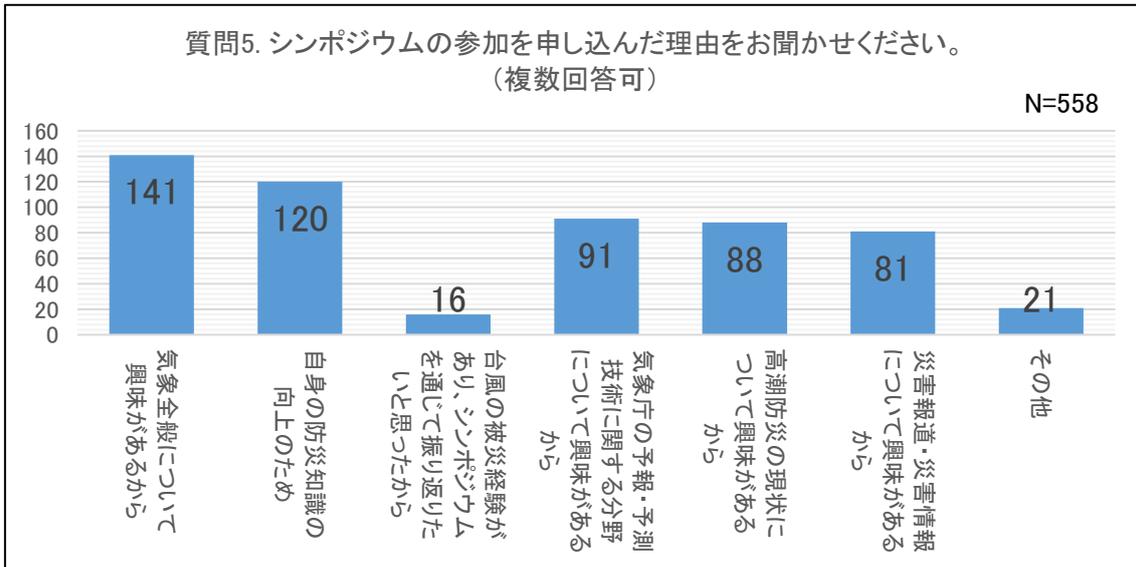


伊勢湾台風 60 年シンポジウム アンケート集計まとめ





質問 8. シンポジウム全体を通じて印象に残ったことがあればご自由にお書きください。(一部抜粋・原文ママ)

- ・高潮の発生予測をする際に、東西方向の台風の位置のズレがかなり大きく影響することに驚いた。正確性を期すこと、防災上の適切な措置の間にあるかい離は、やはり大きいと感じた。
- ・早めの避難以上の対策はない、との一言が印象に残った。
- ・高潮の予測を伊勢湾台風にあてはめた、シミュレーションの結果はないのかな…と思いました。
- ・広域避難に関する議論 山崎氏からの、「避難したが空振りに終わる可能性もあるということ」を認める文化が必要である」という意見が印象に残った。
- ・パネルディスカッションは、先生のうちの誰かがテーマや話題をまわしていく形式でも良かったのかなと思いました。もう少し雑談っぽい雰囲気や本音ベースがひきだせるようなものを期待していました。
- ・第一部では洞爺丸台風、第二部では浸水の時間等について印象に残っています。私たち小

中学生は伊勢湾台風等から皆さんが防災面等積み重ねてきて下さったおかげで台風が来ても安心して家にいることができます。有難いです。ですが、そのおかげで、台風に対して「休校になるかも！」とわくわくしてしまっていてきんちょう感等がうすくなってしまっているの、こういうシンポジウムを開いて下さることで台風に対してもっと危機感を持てる機会をもうけて下さることはとても大切なことだと思います。今、この時代は地球温暖化で何がいつ起きるかわかりません。なのでこのようなシンポジウムは学校等でも開き、子供たちにことの大きさを伝えて頂きたいなと思いました。ありがとうございました。

質問 9. 気象庁が開催するシンポジウムのテーマとして希望するものがあればお書きください。(一部抜粋・原文ママ)

- ・首都圏直下型地震、南海トラフ地震について
- ・防災教育のあり方(今後の見通しや現状)
- ・今日のシンポジウムでも、若い世代の参加者が少ないように見えた。次世代を担う若年層への啓発防災教育に関する講演会などを希望する。
- ・「気象×地域防災に関するシンポジウム」の開催を希望します。これまで「数値予報」「ひまわり」「豪雨」等、気象庁の技術的な側面でのシンポジウムがあったと認識していますが、それらを受けとる側の方によるシンポジウムは少ないように感じています。気象庁単独ではなく、防災関連組織や地方自治体との共催になるかもしれませんが、開催を希望いたします。
- ・繰り返し台風災害が毎年のように日本各地で起こっている。豪雨災害も然りなので、台風災害、豪雨災害が起こる前、起こった時、起こった後どう予測され、何が起こって、どう災害対応されたかを振り返れるようなテーマでやって欲しいと思います。